

女性会活動の歓びを伝えよう!



会長 中山 須美子
津山商工会議所女性会

会員の皆様にはいつも津山商工会議所女性会活動にご協力ご参加いたただき、ありがとうございます。最近、フェイスブックやチャットが静かなブームになっております。現在約五百二十万人ものユーザー人口が生まれています。やはり、震災の影響から何かしら無意識に絆を求めているからではないでしょうか。私たち女性会は、同じ商工業界で活躍する女性同士の絆で結ばれた組織です。しかしながら年々会員が減少し、しかもこの傾向は全国的なものもあります。なるほど、繋がりたい時を選べる手軽さが人気のフェイスブックとは違います。

女性会は、皆様と共に活動をすることで、ひとりでは成し得ない大きな

な夢や感動、深い歓びを分かち合える組織だと思います。もちろん、年齢層の幅、個性、異業種の集まりの中でお互い知らない事もあり、学ばせて貰っている面も多くあり、だからこそ素晴らしい会であると思います。少し我慢したり、工夫したり出来るのも、深い部分で信頼し合っている基盤が有るからではないでしょうか。組織の歯車として自分を磨き上げ事が自己のみならず組織を育て、それが前号で申し上げました『共生の社会を』の考え方だと思います。この事は事業の上でも、双方が互いに喜べる取引が良い仕事と言えるのではないかでしょうか。まさに津山商工会議所女性会のスローガン『地域とともに：情熱と信頼の和を！』に繋がります。

ただいま会員一同は創立四十周年記念式典を半年先に控え、大変多くの事業をこなしています。私たち女

性会は誇りを持って、素晴らしい活動を未入会の女性商工業者にお伝えし、一緒に活動いただけたらと願っています。少し我慢したり、工夫したり出来るのも、深い部分で信頼し合っている基盤が有るからではないでしょうか。組織の歯車として自分を磨き上げ事が自己のみならず組織を育て、それが前号で申し上げました『共生の社会を』の考え方だと思います。この事は事業の上でも、双方が互いに喜べる取引が良い仕事と言えるのではないかでしょうか。まさに津山商工会議所女性会のスローガン『地域とともに：情熱と信頼の和を！』に繋がります。

ただいま会員一同は創立四十周年記念式典を半年先に控え、大変多くの事業をこなしています。私たち女

津山商工会議所 女性会だより

発行所
津山商工会議所女性会
津山市山下30の9
電話(0868)22-3141(代)

发行人 中山須美子
題字 鍋島 和子

平成二十四年度 「女性会定期総会開催」



スローガン 「地域とともに：
情熱と信頼の和を」

地域を愛し地域に愛され、
地域になくてはならない存在
とになりますように：との願い
を込めて、やる気・元気・勇
気と情熱を持って互いに信じ
あって活動していきましょう。

四月二十六日(木)津山国際ホ
テルに於いて午前十一時より
定期総会を開催しました。
中山会長の自己研鑽しなが
ら、おもてなしの心で四十周
年記念式典に向って頑張りま
しょうとの挨拶に始まり、須
江担当副会頭よりご挨拶をい
ただき、女性会会員六十八名
のスタートとなりました。

懇親会では牧野会頭、菅田
副会頭より祝辞を頂戴し青年
部石井会長の乾杯の発声で懇
親会に入り、女性会らしい和
やかな二十四年度のスタート
となりました。



その他議案が承認されました。

- ・平成二十三年度事業報告
- ・平成二十四年度事業計画書(案)並びに収支予算書(案)

りを披露しました。当女性会は、民謡と踊り「津山情緒保存会」の結成十周年記念発表会が十八日ベルフォーレ津山で開かれました。大桑修会長はこの十周年を代表して宮地市長からは、この伝統を市内外に広めて次世代に継承させて欲しいと挨拶がありました。そして、総勢百二十名の踊り連が次々と踊りました。当女性会は、喜びと感謝で語られ、来賓を代表して宮地市長からは、この

喜びと感謝で語られ、来賓を代表して宮地市長からは、この

津山情緒保存会の踊り連百二十名の内、女性会十名の参加で華を添えました。

竹内佑宜実行委員長の「来年は美作建国千三百年を祝う年です。今年は津山を全国に発信していくためにもこのまつりを盛り上げて頂きたい」と挨拶され、市長をはじめ来賓の祝辞・テープカットの後、鶴山桜太鼓が勇壮なばちざばきを披露し、餅まきで開幕を祝いました。

今年は寒さのため開花が遅く、まだ蕾が膨らみ始めたばかりでしたが、日本一の石垣に桜をながめ、踊れる幸福を感じた一日でした。



津山情緒保存会 十周年記念発表会

3月18日(日)

も十一名が参加し、かわい子供連の協力により、みこしをかついで“ワッショイワッショイ”的掛け声とともに、ぎやかに登場し、会場からも大きな拍手をいただきました。指導者でもある日舞の師匠五人の舞踊やヴォーカルアンサンブル津山による歌もあり、会場の観客を大いに魅了し、盛大に幕を閉じました。

「津山さくらまつり」 オープニングセレモニーへ参加

4月1日(日)

城下、八重紅しだれ桜（平成十五年三月七日 創立三十周年記念植樹）の下で中山会長他二十八名でお花見をいたしました。

四十周年記念事業実行委員担当のもと、桜を愛でながらおいしいお弁当に舌つづみ。「四十周年に向けて、みんなで協力してやり遂げましよう」と決意を新たにし、春爛漫の楽しいひとときのお花見会でした。



お花見会

4月17日(火)



記念作品作成

5月14日(月)



来年一月十九日に当女性会は、創立四十周年を迎え、平成二十五年二月二十一日に式典を予定しています。



前年度より、創立四十周年実行委員会を立ち上げ、準備を進めています。五月十四日(月)には、会員へ呼びかけ二十三名の参加のもと、作州糸にこだわり、会員手作りの記念品の作成・準備に取り組みました。

実行委員より作業の説明を行い、反物の切断・アイロンかけ・小物の作成など、グループに分かれ、作業に汗を流しました。完成品になるのが待ち遠しいおもいで、作業を終了しました。

岡山県商工会議所女性会連合会
平成24年度通常総会
— 6月11日(月)

十万人と人口が少ないため、女性も重要な労働力と考えられ、仕事と育児の両立を可能にする支援制度が国により整備されました。

国民と政府の信頼関係、それを維持するための取り組みと努力を理解することがスウェーデンでは大切なことだと話されました。

岡山商工会議所に於いて平成二十四年度通常総会が県下で十二女性会、七十名（津山女性会六名）の出席で行なわれました。

来賓の岡山県商工会議所連合会 会長 岡崎彬様のご挨拶では「世の中厳しい時期は逆に飛躍、チャンスと捉え、女性目線で違った感性で：今こそ女性の活躍の時代、地域の発展の為に頑張って下さい」と励ましの言葉を頂戴しました。

講演会では「高福祉、高負担のスウェーデン」～強い女性が社会を活性化～と題して、上岡美保子氏（前ジエトロ、



心肺蘇生法
— 6月15日(金)

ごんごまつりに向けて実行委員会企画部会より声かけがあり、津山圏域消防署にて、救急車が来るまでに出来る「心肺蘇生法」の応急手当講習会を女性会から六名が参加し熱心に訓練を受けました。

①反応を確認する、②大声で応援を呼ぶ、③胸骨圧迫を行ふ等々、参加しなければわからなかつた注意点などを教えて頂きました。

「突然人が倒れたら、あなたは一步踏み出せますか？」の問い合わせにも、「一步でも踏み出せられる自分でいたい」と感じました。

ストックホルム事務所所長）スウェーデンは人口九百五十万人と人口が少ないため、女性も重要な労働力と考えられ、仕事と育児の両立を可能にする支援制度が国により整備されました。

国民と政府の信頼関係、それを維持するための取り組みと努力を理解することがスウェーデンでは大切なことだと話されました。

岡山商工会議所に於いて平成二十四年度通常総会が県下で十二女性会、七十名（津山女性会六名）の出席で行なわれました。

来賓の岡山県商工会議所連合会 会長 岡崎彬様のご挨拶では「世の中厳しい時期は逆に飛躍、チャンスと捉え、女性目線で違った感性で：今こそ女性の活躍の時代、地域の発展の為に頑張って下さい」と励ましの言葉を頂戴しました。

講演会では「高福祉、高負担のスウェーデン」～強い女性が社会を活性化～と題して、上岡美保子氏（前ジエトロ、

津山国際ホテル七階スリジェにて、会員四十一名参加のもと、午前七時より早朝例会を開催しました。

今回津山市長 宮地昭範氏をお迎えし、「津山のまちづくり」と題し講演を開きました。最大の問題である「ごみ処理」「企業誘致」「行政の子育て支援」など、津山の発展に向けて意欲的に取り組まれておられ、少しでも良い津山になればいいなど感じました。「笑顔あふれるふるさと津山」をキヤッチフレーズに歴史文化を守り、住んでみたい、住みつけたい安心安全のまちづくりを目指し頑張ります！」と締めくくられました。

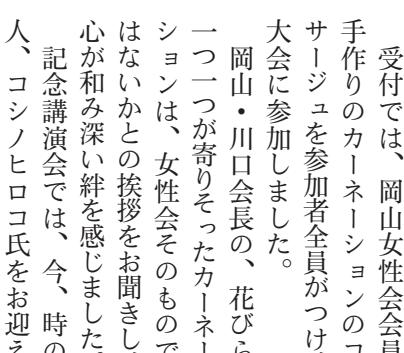
ホテルグランヴィア岡山において、中国五県四十四女性会、総勢六百十九名で開催され、当女性会からは二十四名が参加しました。



津山国際ホテル七階スリジェにて、会員四十一名参加のもと、午前七時より早朝例会を開催しました。

今回津山市長 宮地昭範氏をお迎えし、「津山のまちづくり」と題し講演を開きました。最大の問題である「ごみ処理」「企業誘致」「行政の子育て支援」など、津山の発展に向けて意欲的に取り組まれておられ、少しでも良い津山になればいいなど感じました。「笑顔あふれるふるさと津山」をキヤッチフレーズに歴史文化を守り、住んでみたい、住みつけたい安心安全のまちづくりを目指し頑張ります！」と締めくくられました。

ホテルグランヴィア岡山において、中国五県四十四女性会、総勢六百十九名で開催され、当女性会からは二十四名が参加しました。



受付では、岡山女性会会員手作りのカーネーションのコサージュを参加者全員がつけ、大会に参加しました。

岡山・川口会長の、花びら一つ一つが寄りそつたカーネーションは、女性会そのものではないかとの挨拶をお聞きし、心が和み深い絆を感じました。

記念講演会では、今、時の心が和み深い絆を感じました。

帰りの車中も、「マイマイマイ津山」の歌声が響きあい、たくさんの行事が控えている津山女性会の明るい未来を感じた一日でした。



第27回中国地方商工会議所女性会連合会
平成24年度通常総会
— 7月23日(月)

し、「人生をデザインする」と題した、トークショーをお聞きしました。

聞き手の吉本真樹氏と映像を交え、NHK「カーネーション」でのエピソードなど、藏出しの話題など軽快なお話を聴く事ができました。

人生物語るも洋服、生き方まで変える力を持つ洋服、そこに賭ける命がけの情熱、自分自身輝けるからこそあこがれの存在になり、人を育てることに繋がり、今も前進し続けるコシノヒロコ氏のパワーに圧倒されつつ、自分の今を見直す素晴らしい時間をいたしました。





「第34回津山納涼ごんごまつり」が8月4日、5日の両日開催され、例年にない猛暑の中、女性会では今年も力フェスごんごを二会場に出店しました。4日は「ごんごおどり」で会場は盛り上がり、5日は県下最大規模の8千発の花火が夜空に豪華な大輪の花を咲かせました。

「カフェごんご」では今年もフライドポテト、からあげ、やきとり、ぶっかけうどん、大好評のきゅうりのごんちゃん漬けなど、10種類のメニューを販売しました。汗だくになりながら揚げ物に、販売にと大忙しの中、座る間もなく大勢のお客様に喜んでいただき完売いたしました。おそろいのピンクのTシャツとタオルの仲間達の笑顔の輪の中で、女性会の力強い絆と団結力を感じ、「ドーン」と響く花火の音を体いっぱい感じながら2日間に「カフェごんご」を無事に終えることができました。

来て下さったお客様、ご協力いただいた企業各社の皆様に心より感謝申し上げ、収益金の一部を花火と東日本大震災の義援金に充てさせていただきました。本当にありがとうございました。



みんなで力を合わせて頑張った、夏の「カフェごんご」お疲れさまでした。

女性会が、地域になくてはならない存在となれるよう願いを込めて、全員が楽しみ・喜んで参加した、たくさんの女性会活動。

これからも、ますます熱を持って、四〇周年に向けて心を一つに頑張っていきましょう。

編集後記

新入会員を募集しています

異業種の人達と親睦を深め仲間と研鑽を積みませんか

【お問い合わせ】津山商工会議所女性会事務局
TEL (0868) 22-3141



女性会ホームページが
リニューアルしました!

<http://tsuyama-joseikai.org/>
●アドレスが変更になりました●